



2. 「まち」にぎわう

価値ある資源が活かされるまち

- ▶ 認定農業者や集落営農組織などの農業用機械の購入支援
- ▶ 労働力不足などの解消に向けたスマート農業機器の導入支援
- ▶ 全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けた関係機関との連携
- ▶ 高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫などに対する家畜防疫体制の強化
- ▶ 令和3年7月豪雨で被災した農地や林道などの災害復旧事業の推進
- ▶ 「薩摩のさつま」ブランド化による販路拡大
- ▶ 第3弾さつま応援商品券の発行
- ▶ 新卒者や転入者への就労支援奨励金の支給などによる町内企業への雇用促進

さつま学の推進による人間性豊かなまち

- ▶ 青少年交流や親子の体験活動を通じた郷土愛や生きる力の醸成
- ▶ 生涯学習への関心を高める魅力ある学習環境づくり
- ▶ 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」に向けた機運の再醸成
- ▶ 新たな文化施設の整備に向けた基本構想や計画を定める

みんなに優しく魅力あふれるまち

- ▶ 北薩横断道路の「広瀬道路・宮之城道路」の早期完成に向けた関係機関との連携
- ▶ 令和3年7月豪雨で被災した道路や河川などの災害復旧事業の推進
- ▶ プロジェクトチームによる人口減少対策の検証と事業の推進
- ▶ インターネット環境における高速通信網を活用したサービスの向上

3. 「自然」うるおう

豊かな自然を守り、水と緑に癒されるまち

- ▶ 北薩広域公園の歴史ゾーンの早期整備や園内施設の充実
- ▶ 「持続ある未来づくり、カーボンニュートラルさつま町宣言」(仮称)を行い、さつま町から地球環境を考え提案する取組を推進

ふるさとを見直し、資源を大切にするまち

- ▶ リサイクル率向上、ごみの減量化、不法投棄防止の強化

4. 「みんなで紡ぐ」

語らいで育む、連携と役割を担うまち

- ▶ 全地区で「みんなで紡ぐ、希望のまちづくり座談会」(仮称)を開き、町民参加・参画の推進につなげる
- ▶ 町ホームページのリニューアル
- ▶ 公共施設のキャッシュレス決済の実証実験を実施
- ▶ デジタル化推進のため、民間からの専門的な人材の登用
- ▶ 女性職員の管理職への積極的な登用

羅針盤 まちづくりの

3月議会定例会で
上野俊市町長が表明した
施政方針の概要をお知らせします。

令和4年度は、町政を預かり2年目となります。マニフェストに掲げた6つの目標を具体的に実行しながら「夢と希望のあるさつま町の未来を創る」ために全身全霊で取り組んでいきます。人口減少や超高齢化などに関する課題の解決と、持続可能な地域づくりに向けて、町民や企業、関係機関、学校などと連携した取組を進めていくために、SDGs週間である9月下旬を目安に「希望輝く、さつま町SDGs推進宣言」(仮称)を行う予定です。

上野俊市

施政方針の全文は
町ホームページに掲載



▶ …新たに取り組む事業

1. 「ひと」ふれあう

まちぐるみで育む、子どもの笑顔が輝くまち

- ▶ 妊娠8か月を迎えた母親に出産準備応援給付金を支給
- ▶ 不妊治療費の助成の拡充
- ▶ 3歳児健診で視覚検査機器を導入
- ▶ インフルエンザ予防接種の助成対象を、生後6か月～高校3年生と妊産婦に拡充
- ▶ 子ども虐待防止や早期発見のための関係機関との連携
- ▶ 柏原小学校の環境改善を図るための大規模改造
- ▶ 4月に開校した鶴田小学校のフォローアップ
- ▶ 薩摩中央高校の魅力ある学校づくりと情報発信

ともに認め合い、支え合うまち

- ▶ 多文化共生を推進するための計画を定める
- ▶ 外国人が地域活動に参加し、地域住民と交流しやすくなるための公民会活動への支援
- ▶ ベトナム語、英語、日本語などが堪能である外国人交流員の配置を検討

希望に満ちて、生涯をいきいきと暮らせるまち

- ▶ 生活を支援する「おたすけ隊」など、住民が主体の地域ボランティアを支援
- ▶ さつま・ふくしまルシェなどを通して、就労支援事業所の活動を紹介し、障がいがある方への理解を深める
- ▶ 特定健診やがん検診の受診率向上に取り組み、病気の早期発見・治療につなげる
- ▶ 地域医療の核となる薩摩郡医師会病院の医師確保に対する支援
- ▶ 新型コロナワクチン接種の体制確保

安全・安心の輪を広げるまち

- ▶ 自主防災組織が行う防災活動への支援
- ▶ 地域防災リーダーなどの育成費用への助成
- ▶ 自主防災組織が運営する届出避難所運営事業を新設
- ▶ 北薩3消防本部通信指令業務の共同運用を推進
- ▶ 消防団員の報酬の見直しと自動車保険への加入